

●基本理念を支えるみどりに関する協働の考え方

「人とみどりが輝くさっぽろ」は、私たち札幌市民一人ひとりが主役となり協働でみどりのまちづくり活動に取り組むことで、はじめて実現するものです。

私たちそれぞれが、みどりづくりの取組みを進めていくとともに、さまざまな協働によりその活動をつなぎ、みどりづくりの人の環(わ)を広げていきます。

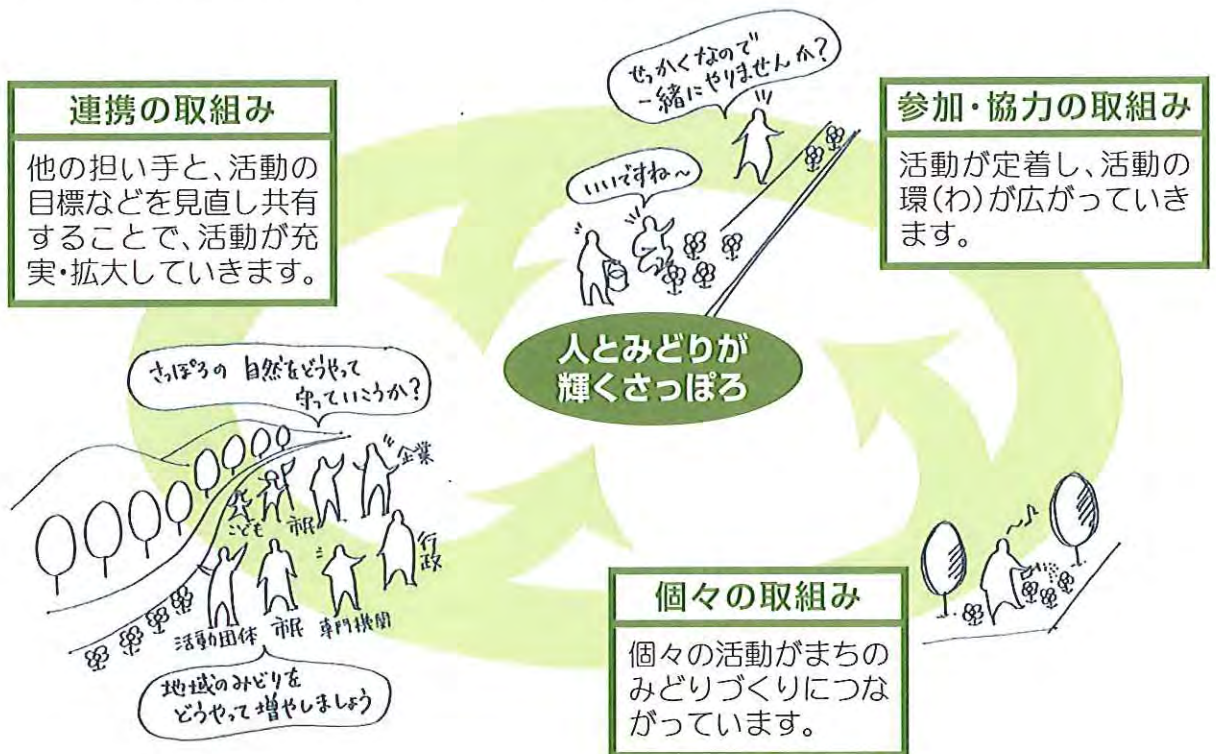
◆協働の担い手

この計画では、協働の担い手として、「市民」、町内会やNPOなどの「活動団体」、「企業」、「大学など専門機関」、「行政」の5つに整理しています。

◆協働のあり方

みどりに関する協働のあり方はさまざまであり、この計画では、

- * まちのみどりづくりに向けたそれぞれの活動に取り組んでいる「個々の取組み」
- * 他の担い手とのコミュニケーションを図りながら、お互いに活動への参加・協力を進めている「参加・協力の取組み」
- * それぞれの担い手が役割分担や責任のもと活動を進めている「連携の取組み」の3つにとらえています。



【みどりに関する協働に際しての行政のかかわり方】

- * 協働の担い手に応じて、活動や情報発信を効果的に支援していきます。
- * それぞれの活動や担い手のネットワークづくりを進めるほか、「連携の取組み」を進め、市民の方々の経験や知識を活かした、協働による札幌のみどりづくりに取り組んでいきます。
- * 行政が主体となって行う計画・事業・評価・改善を、他の担い手の参加を得て、連携を形成する中で行い、協働の取組みの先導役となります。

田みどりの将来像

札幌市では、基本理念である「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」を受けて以下の4つを、目指すべきみどりの将来像とします。

●私たちが守り・はぐくむみどり

私たちの生活において欠かすことのできないみどりを、一人ひとりが楽しみ協力しながら守り育てていくことを目指します。

●私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり

みどりに囲まれた暮らしの空間のなかで、みどりを楽しむ生活文化をはぐくむとともに、歴史や文化を生かした個性ある地域のみどりを守り育てて、ゆとりと安らぎのあるみどり豊かな地域づくりを目指します。

●地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり

私たちの生活にうるおいと安らぎをもたらす山並みや緑地・農地のほか、河川などの身近なみどりを守り育てていくことで、地球環境や生物の多様性が保全される自然環境の連続化を目指します。

●私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり

誰もが活用できる人に優しい、ユニバーサルデザインによる公園緑地づくりの定着を目指します。

※ユニバーサルデザイン

高齢者や障がい者のための特別な仕様をつくるのではなく、最初から多くの人々の多様なニーズを反映してつくられた製品、建物、環境のデザイン。

II みどりの将来像図[全体配置]



※奥山

山岳地帯として自然が豊かであり、土地の位置、形状その他の土地の状況からみて自然環境を保全すべき地域で、都市計画区域外に位置する。(国有林が大部分を占める)

※里山

市街地の周辺にあって、みどりが比較的豊かであり、みどりを保全・創出しながら、市街地の周辺にふさわしい土地の活用を図る山地丘陵地で、市街化調整区域に位置する。

※里地

市街地の周辺にあって、みどりが比較的豊かであり、みどりを保全・創出しながら、市街地の周辺にふさわしい土地の活用を図る平地で、市街化調整区域に位置する。